



第4編

市民参画

- 第1章 アンケート等を通じた意見、提案への取組
- 第2章 あいづ創生市民会議
- 第3章 地区別ワークショップ
- 第4章 高校生ワークショップ
- 第5章 庁舎検討懇談会
- 第6章 総合計画審議会
- 第7章 策定経過等



1

まちづくり提言はがき

■目的

新たな総合計画策定に向けて、将来に向けたより良いまちづくりを進めていくために、市政へのアイデアや提言を募集しました。頂いた意見や提案は、総合計画策定の基礎資料としてタウンミーティングやあいづ創生市民会議、会津若松市総合計画審議会などで活用しました。

■実施方法

- ① 市政だより平成26年7月1日号添付のはがきによる募集
- ② 市のホームページからの募集

■実施期間

平成26年7月1日～平成26年9月1日

■結果

33名から51件の意見、提案

■主な意見、提案

- ・ 高齢者への情報通信機器の使い方教室の開催
- ・ 猪苗代湖を利用したヨットなどスポーツの利用促進
- ・ 会津大学等と連携した、高校生へのIT教育の推進
- ・ 会津大学を活かした産学連携支援による企業の誘致と経営力強化
- ・ 健康長寿を誇れるまちをつくる
- ・ 道路交通網の整備やまちなみ、景観の向上
- ・ 市内に映画館を誘致し、若者と高齢者の楽しみを増やす
- ・ 同居家族を優遇することで独居高齢者を減らし、安心安全な暮らしをつくる
- ・ 女性が働きやすい機会を創出し、子育てを支援する
- ・ 市街地中心部の城下町を残し、外環部を産学連携の場所とした均衡のある都市開発
- ・ 鉄道とバスの連携による交流が生まれる公共交通の整備
- ・ 駅前の広場などの配置を見直して、会津らしい景観を創出し、利便性を向上する
- ・ 文化・商業が集積する中心市街地への移住を進め、中心市街地を活性化する

2 市民意識調査

■目的

新たな総合計画策定に向けて、市の施策や取組に関して、市民の皆様の考えや意見を伺いました。調査結果は、総合計画策定の基礎資料としてタウンミーティングや、あいづ創生市民会議、会津若松市総合計画審議会などで活用しました。

■対象者

18歳以上の市民4,000人（平成26年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出）並びに、市内504地区の区長。

■調査方法

郵送による調査、回収

■実施期間

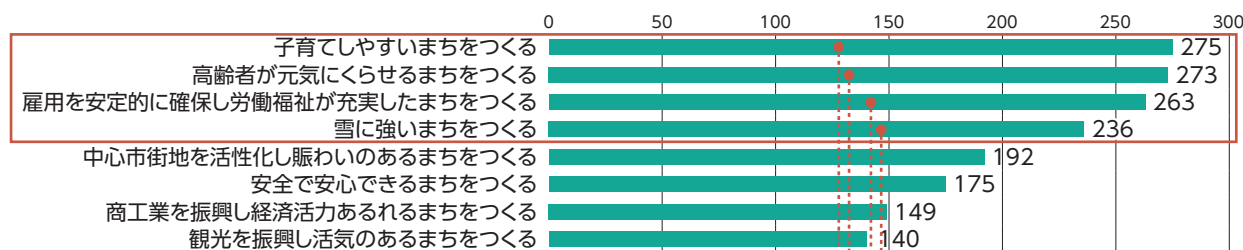
平成26年9月25日～平成26年10月20日

■回答者数

- ①市民：1,285人（32.1%）
- ②区長：339人（67.3%）

■主要な調査結果：今後のまちづくりの重点施策（抜粋）

「子育てしやすいまちをつくる」、「高齢者が元気にらせるまちをつくる」、「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」、「雪に強いまちをつくる」に200件を超える回答があり、重点的に取組むべき施策と考えられていることがわかりました。



総合計画への反映

政策目標1：
未来につなぐひとづくり

政策目標2：
強みを活かすしごとづくり

政策目標3：
安心、共生のくらしづくり

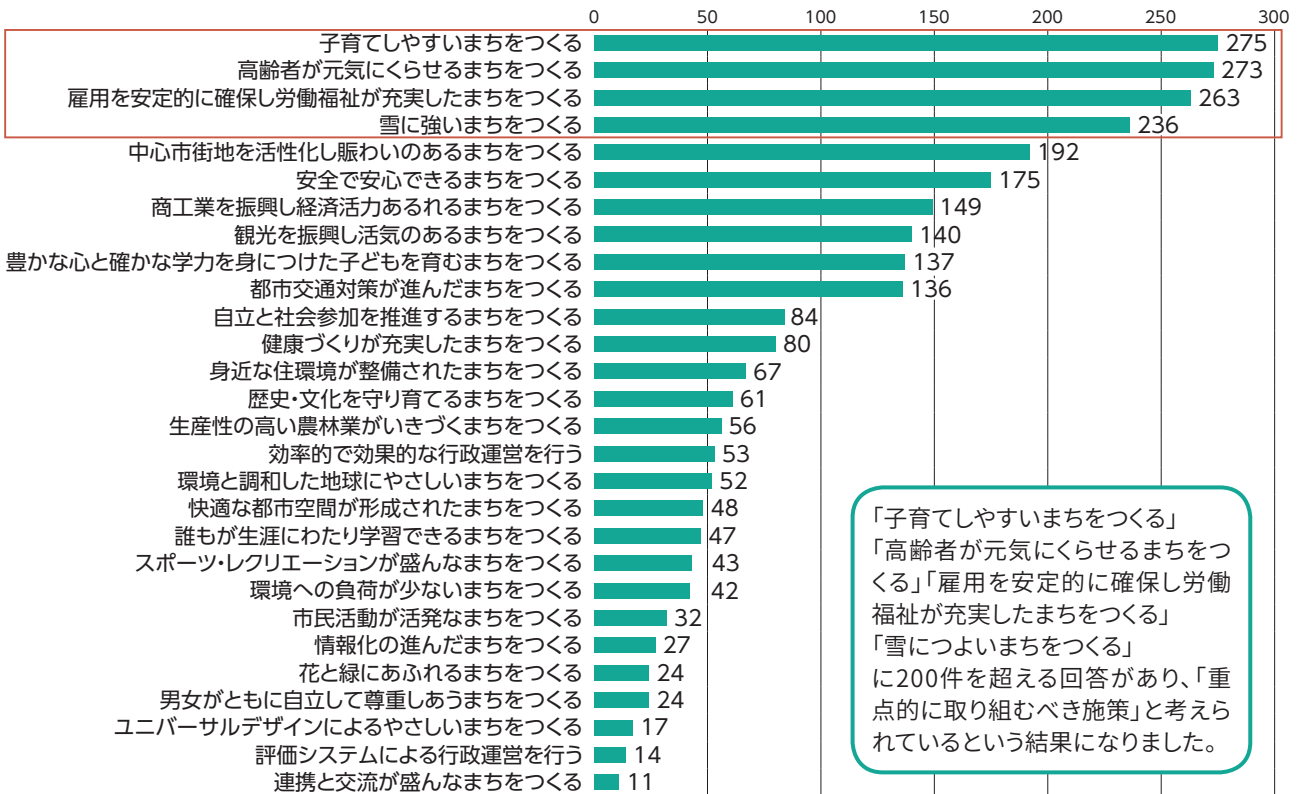
政策目標4：
安全、快適な基盤づくり

※その他の施策についても、幅広く、各政策分野に、盛り込んでいます。

■調査結果 ①市民

○ 今後のまちづくりの重点施策

●問60 今後のまちづくりの重点政策について伺います。問59の①から⑳までの政策のうち、市として重点的に取り組むべきと思う政策を選んで、その番号をご記入ください(○は3つまで)



「子育てしやすいまちをつくる」「高齢者が元気に暮らせるまちをつくる」「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」「雪につよいまちをつくる」に200件を超える回答があり、「重点的に取り組むべき施策」と考えられているという結果になりました。

○ 分科会別分析

最も回答が多かった「子育てしやすいまち」でも選択率は21.4%

- 重点と言っても市民の意見は分散している。
- 分科会の開催意義がある。
- 他方、分科会テーマにとらわれすぎると「木を見て森を見ず」!

ふくし(健康・福祉) 13.8%

- ・高齢者が元気に暮らせるまち(2)
- ・健康づくりが充実したまち(12)

しごとづくり(産業) 12.5%

- ・雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまち(3)
- ・中心市街地を活性化し賑わいのあるまち(5)
- ・商工業を振興し経済活力あふれるまち(7)
- ・観光を振興し活気のあるまち(8)
- ・生産性の高い農林業がいきづつまち(15)

ひとづくり(こども・教育) 9.4%

- ・子育てしやすいまち(1)
- ・豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまち(9)
- ・歴史・文化を守り育てるまち(14)
- ・誰もが生涯にわたり学習ができるまち(19)
- ・スポーツ・レクリエーションが盛んなまち(20)

末尾() = 順位

まちづくり(環境・都市機能) 6.4%

- ・雪に強いまち(4)
- ・安全で安心できるまち(6)
- ・都市交通対策が進んだまち(10)
- ・環境と調和した地球にやさしいまち(17)
- ・快適な都市空間が形成されたまち(18)
- ・環境への負荷が少ないまち(18)
- ・情報化の進んだまち(23)
- ・花と緑にあふれるまち
- ・ユニバーサルデザインによるやさしいまち(26)

きょうどう(協働・行政運営) 2.7%

- ・自立と社会参加を推進するまち(11)
- ・効率的で効果的な行政運営をおこなう(16)
- ・市民活動が活発なまち(22)
- ・男女がともに自立して尊重し合うまち(24)
- ・評価システムによる行政運営を(27)
- ・連携と交流が盛んなまち(28)

各種施策の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	未回答
子育てしやすいまちをつくる	46	91	510	174	84	294	86
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	45	95	512	239	154	173	67
自立と社会参加を推進するまちをつくる	30	83	523	218	102	254	75
健康づくりが充実したまちをつくる	47	97	636	170	89	170	76
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	44	133	584	158	83	208	75
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	36	105	543	184	80	250	87
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	41	135	583	177	82	182	85
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	88	265	519	139	53	140	81
観光を振興し活気のあるまちをつくる	70	211	444	231	134	116	79
商工業を振興し経済活力あるまちをつくる	32	86	418	293	208	162	86
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	29	54	281	327	373	138	83
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	30	41	310	353	308	161	82
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	26	41	384	254	207	291	82
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	26	103	618	135	60	231	112
環境への負荷が少ないまちをつくる	43	169	620	148	58	139	108
安全で安心できるまちをつくる	57	126	595	192	67	136	112
情報化の進んだまちをつくる	36	77	568	211	92	182	119
花と緑にあふれるまちをつくる	64	195	591	149	67	108	111
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	32	81	499	266	120	172	115
都市交通対策が進んだまちをつくる	28	77	432	319	200	120	109
身近な住環境が整備されたまちをつくる	57	126	534	223	123	115	107
雪に強いまちをつくる	36	78	308	362	307	90	104
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	22	35	503	153	87	355	130
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	30	48	552	166	104	261	124
市民活動が活発なまちをつくる	30	84	592	167	62	228	122
連携と交流が盛んなまちをつくる	37	96	548	163	46	269	126
評価システムによる行政運営を行う	29	50	500	146	75	361	124
効率的で効果的な行政運営を行う	28	49	466	153	88	379	122

各施策の満足度は全体的に「普通」の回答が多い結果となりました。産業・まちづくり関係施策の不満が多い点がわかります。

満足度の分類

●満足度の高い政策(満足+やや満足>やや不満+不満)

- ・歴史文化を守り育てるまち(ひとづくり)
- ・花と緑にあふれるまち(まちづくり)

●満足度が低い政策(普通<やや不満+不満)

- ・商工業を振興し経済活力あふれるまち(しごとづくり)
- ・中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる(しごとづくり)
- ・雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまち(しごとづくり)
- ・生産性の高い農林業がいきづくまち(しごとづくり)
- ・都市交通対策が進んだまち(まちづくり)
- ・雪に強いまち(まちづくり)

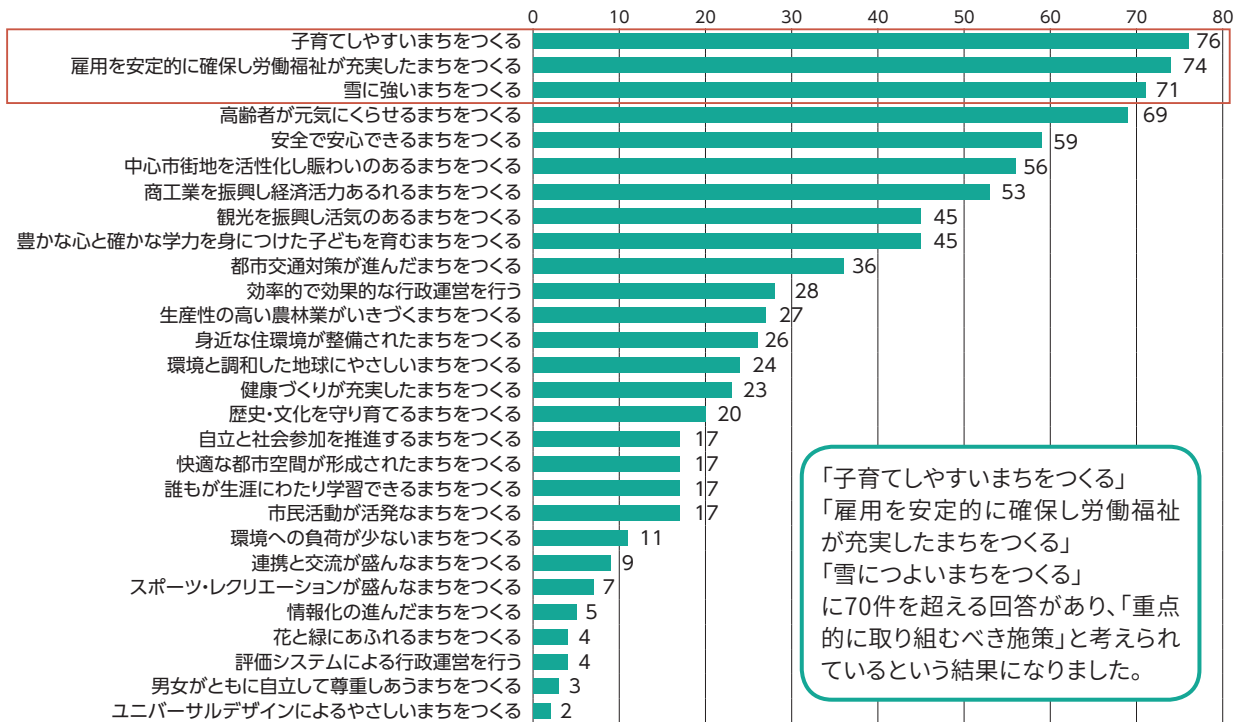
●評価しにくい政策(普通<わからない+未回答)

- ・効率的で効果的な行政運営をおこなう(きょうどう)

■調査結果 ②区長

○ 今後のまちづくりの重点施策

●問60 今後のまちづくりの重点政策について伺います。問59の①から⑳までの政策のうち、市として重点的に取り組むべきと思う政策を選んで、その番号をご記入ください(○は3つまで)



「子育てしやすいまちをつくる」
「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」
「雪につよいまちをつくる」
に70件を超える回答があり、「重点的に取り組むべき施策」と考えられているという結果になりました。

○ 各種施策の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	未回答
子育てしやすいまちをつくる	4	31	145	61	23	68	7
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	3	25	126	81	50	48	6
自立と社会参加を推進するまちをつくる	1	17	137	87	36	55	6
健康づくりが充実したまちをつくる	2	38	153	61	29	49	7
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	3	47	161	50	20	52	6
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	1	45	151	64	16	54	8
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	5	37	155	68	26	41	7
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	12	81	131	56	18	34	7
観光を振興し活気のあるまちをつくる	11	58	116	75	38	34	7
商工業を振興し経済活力あるまちをつくる	5	19	103	101	59	43	9
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	3	13	73	111	95	37	7
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	4	2	80	103	102	41	7
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	1	5	68	109	92	57	7
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	1	21	169	51	21	65	11
環境への負荷が少ないまちをつくる	5	56	161	48	18	41	10
安全で安心できるまちをつくる	4	36	170	60	25	34	10
情報化の進んだまちをつくる	3	23	162	59	26	55	11
花と緑にあふれるまちをつくる	8	44	159	59	15	42	12
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	3	27	127	91	34	46	11
都市交通対策が進んだまちをつくる	1	18	107	100	68	35	10
身近な住環境が整備されたまちをつくる	4	41	123	77	48	36	10
雪に強いまちをつくる	2	15	87	109	86	30	10
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	0	6	141	59	19	104	10
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	0	8	178	48	17	78	10
市民活動が活発なまちをつくる	2	21	152	70	18	66	10
連携と交流が盛んなまちをつくる	3	23	151	57	15	80	10
評価システムによる行政運営を行う	1	19	138	57	27	87	10
効率的で効果的な行政運営を行う	0	20	138	55	35	81	10

各施策の満足度は全体的に「普通」の回答が多い結果となりました。産業・まちづくり関係施策の不満が多いことがわかります。

3 事業所アンケート調査

■目的

新たな総合計画策定に向けて、将来にわたり、持続力と回復力のある力強い地域社会をつくり、ふるさと会津若松をより良い形で後世に残していくため、本市経済の現状や企業の経営状況、市の取り組みなどに関する考えや意見を調査しました。調査結果は、総合計画策定の基礎資料として、タウンミーティングやあいづ創生市民会議、会津若松市総合計画審議会などで活用しました。

■対象

市内700事業所

■調査方法

郵送による調査、回収

■実施期間

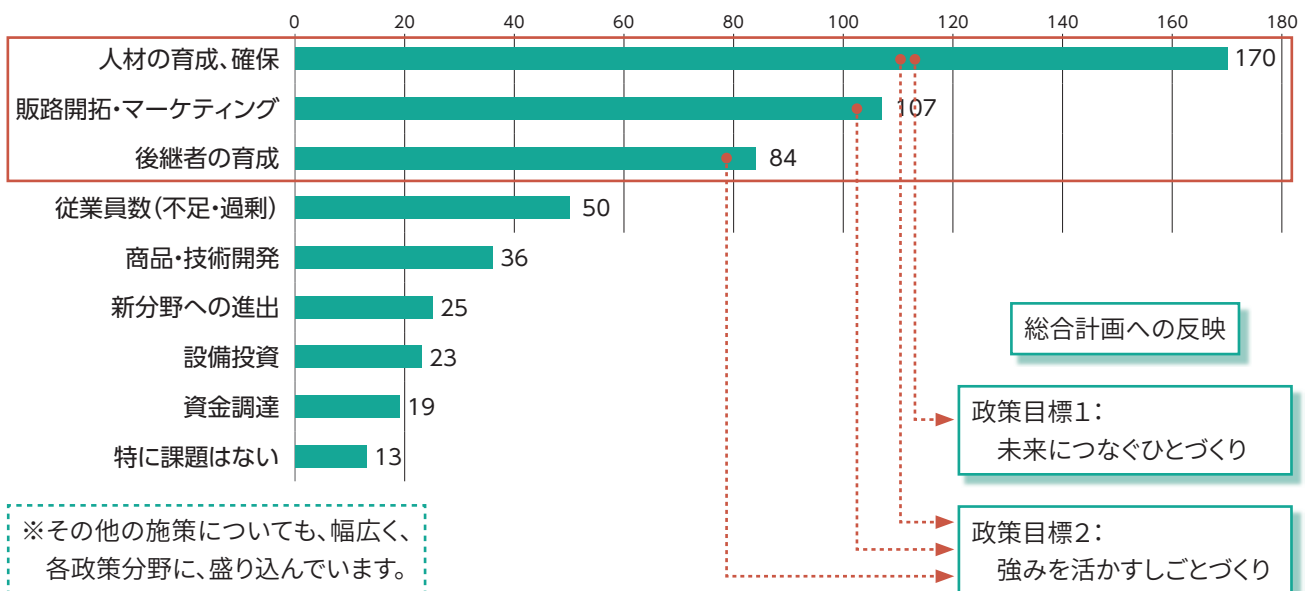
平成26年12月5日～平成26年12月26日

■回答数

303事業所(43.3%)

■主要な調査結果:経営上の課題(抜粋)

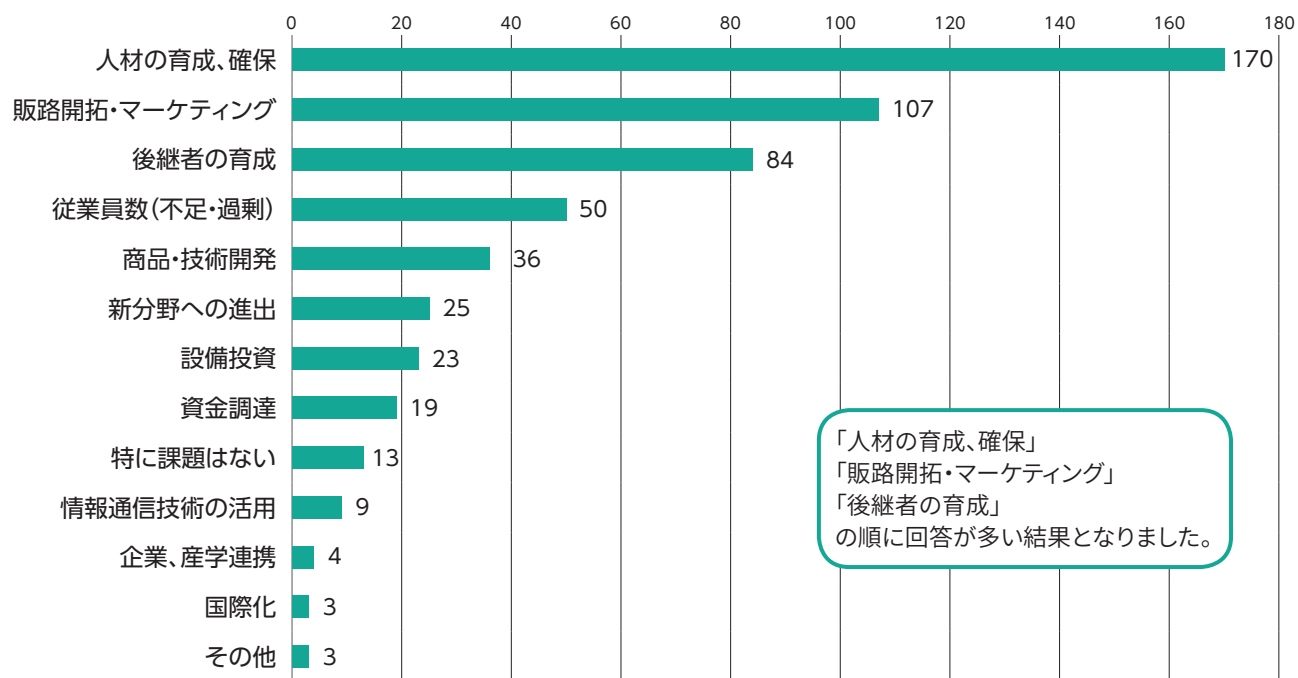
「人材の育成、確保」、「販路開拓・マーケティング」、「後継者の育成」、といった取組に課題を感じている事業者が多いことがわかりました。



調査結果

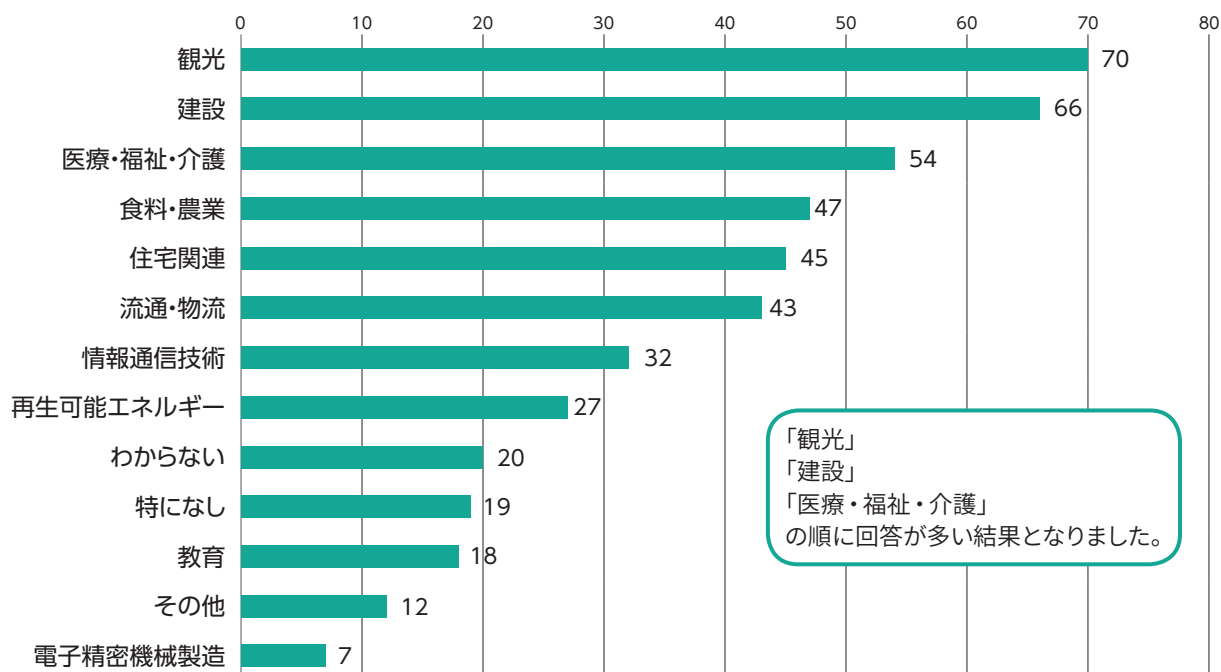
経営上の課題

- 問10 貴社が、現在取り組んでいる又は近い将来取り組む必要がある経営上の課題について、教えてください。
(特に重視しているもの2つまで選んでください)



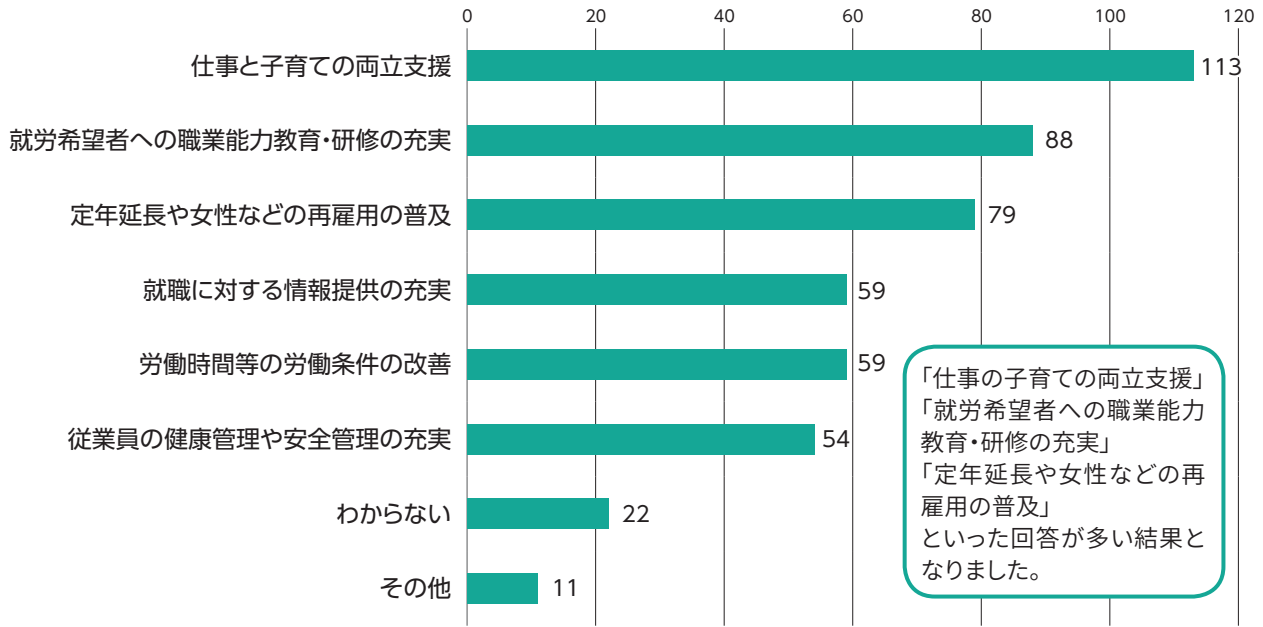
成長を期待している産業分野

- 問15 今後、貴社が発展していくうえで成長を期待している産業分野を教えてください。



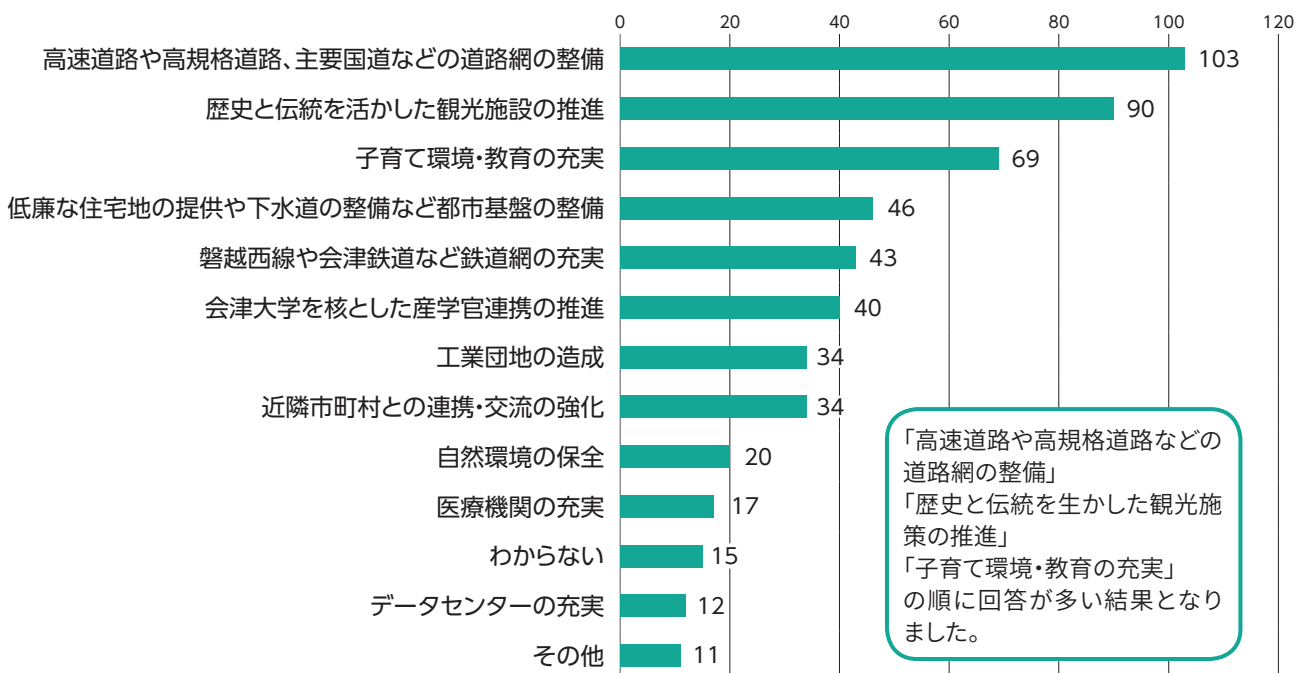
誰もが働きやすい環境の整備とは

- 問22 少子高齢化が進む中で、活力を失わない地域経済を構築していくためには、誰もが働きやすい環境の整備が必要となりますが、次の項目の中で特にどのようなことが大切だと思いますか？ 2つ以内に○をつけて下さい。



事業所にとって魅力あるまちづくりとは

- 問23 今後10年間でどのような施策を重点的に実施すれば、事業所の立地場所として魅力ある会津若松市を築くことができるとお考えですか。2つ以内に○をつけてください。



4 未来デザインアンケート

目的

新たな総合計画策定に向けて、将来の会津若松市を担う子どもたち(小中学生)に対し、会津若松市への意見や思い、普段の生活などを伺うアンケート調査しました。調査結果は、総合計画策定の基礎資料として、タウンミーティングやあいづ創生市民会議、会津若松市総合計画審議会などで活用しました。

対象者

市内の小学5・6年生、中学1・2年生

調査方法

各学校を通じ、調査票を配布及び回収

実施期間

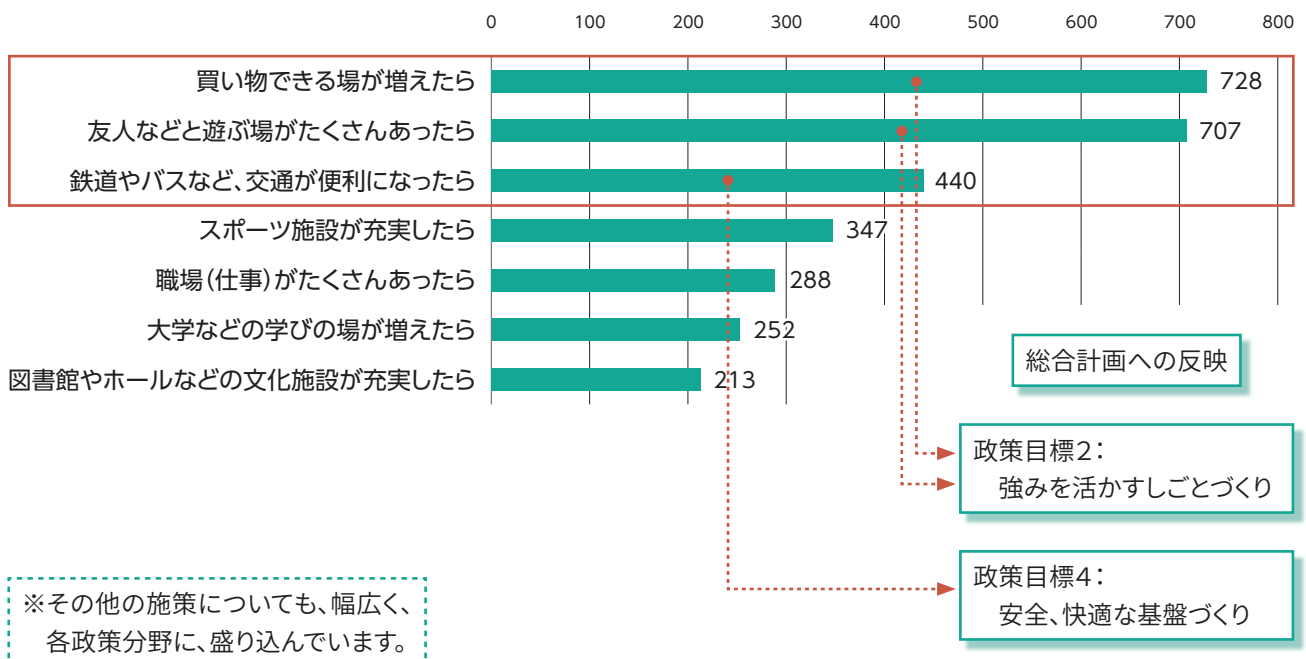
平成27年1月9日から平成27年1月20日

回答数

小学生955名、中学生622名、計1,577名

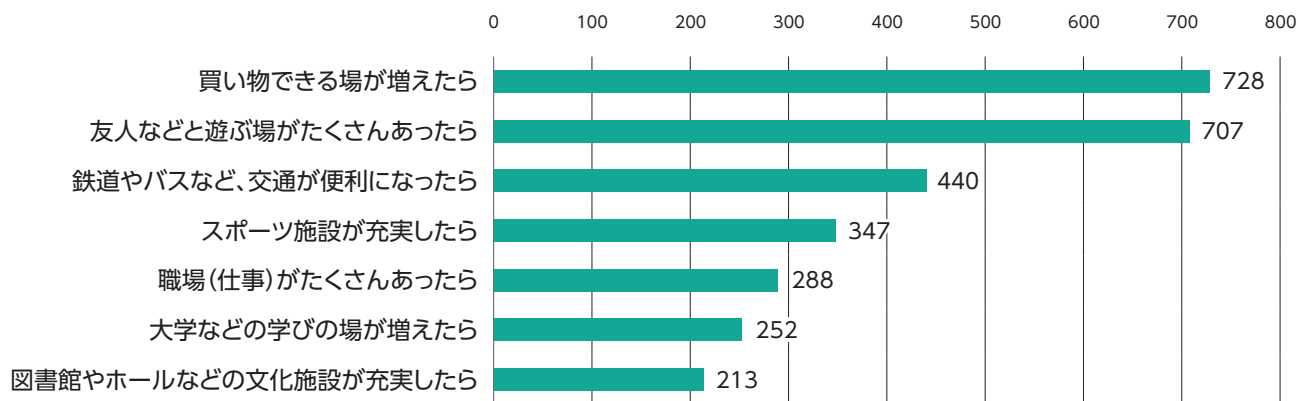
主要な調査結果:今後のまちづくりの重点施策(抜粋)

買い物や友人との遊び場を希望している児童・生徒が多く、特に、ショッピングモールや映画館を必要とする声が多い結果となりました。



調査結果

会津若松市に住み続けるために必要だと思うこと



買い物の場や友達との遊び場を希望している子が多い結果となりました。記述式の回答から、具体的には、ショッピングモールや映画館、遊園地などが「あったらいいな」と感じています。

選択肢	回答者数	構成比
買い物できる場が増えたら	728	46.2%
友人などと遊ぶ場がたくさんあったら	707	44.8%
鉄道やバスなど、交通が便利になったら	440	27.9%
スポーツ施設が充実したら	347	22.0%
職場(仕事)がたくさんあったら	288	18.3%
大学などの学びの場が増えたら	252	16.0%
図書館やホールなどの文化施設が充実したら	213	13.5%
その他	111	6.8%
有効回答数	1,577	100%

将来やってみたい職業

希望する職業	小学生			中学生		
	男子	女子	計	男子	女子	計
スポーツ選手等	130	21	151	38	11	49
保育士、幼稚園教諭	4	57	61	2	40	42
医師	20	28	48	14	18	32
教師	2	26	28	14	20	34
料理人、パティシエ	16	43	59	4	6	10
看護師	1	34	35	2	25	27
芸能関係	6	18	24	4	26	30
公務員(教師除く)	8	9	17	17	12	29

男子は、圧倒的にスポーツ選手が人気です。女子は、保育士や医師、教師、パティシエなどになりたい子が多いようです。

1 目的

第7次総合計画を市民の皆様とともに策定していくために、市民公募により、参加者を募りました。

市の政策や重要な計画についての学習や、ワークショップの手法を用いた取組により、市民の皆様の意見や提案を引き出し、第7次総合計画の政策・施策の立案に反映しました。

特に、基本構想のまちづくりの目標とした『ともに歩み、ともに創る「温故創しん」会津若松』の言葉は、あいづ創生市民会議の中で生まれました。

2 参加者

①参加者数 42名 (構成) 男性26名 女性16名

②分科会

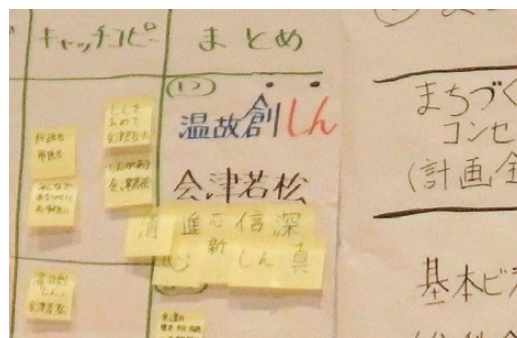
- 第1分科会 ふくし (主な担当分野:福祉・健康)
- 第2分科会 ひとづくり (主な担当分野:子ども、教育)
- 第3分科会 しごとづくり (主な担当分野:産業、経済)
- 第4分科会 まちづくり (主な担当分野:環境エネルギー、都市基盤)
- 第5分科会 きょうどう (主な担当分野:協働、地域、行政、財政)

③分科会の構成

分科会	構成員			
第1分科会 ふくし	大竹謙一さん 宗像由加里さん	葛岡八千代さん 吉原秀一さん	栗城和夫さん 渡部香世子さん	馬場由紀子さん 渡邊博康さん
第2分科会 ひとづくり	荒川富士雄さん 榎屋奈津子さん 渡部よう子さん	君佳明さん 山口巴さん	高林いづみさん 遊佐弘子さん	長谷川綾さん 湯田慶雄さん
第3分科会 しごとづくり	岩淵一正さん 関千尋さん	大須賀啓次さん 古川恵一さん	佐々木賢さん 山内恒幸さん	鈴木あゆみさん
第4分科会 まちづくり	小椋満幸さん 高階博利さん 藤井靖史さん	折笠哲也さん 高橋壮治さん	栗城美保さん 馬場通雄さん	佐藤雅美さん 福西敦子さん
第5分科会 きょうどう	阿久津昌生さん 永田麻由美さん	岡野典生さん 中村喜美男さん	小山豊さん 松嶋加代子さん	鈴木利昭さん

3 開催概要

回	月 日	主な内容
1	平成27年 5月29日	会議の設置、情報共有、分科会編成
2	平成27年 6月17日	市の現況説明、「まちの強み再発見!」
3	平成27年 7月1日	「理想のまち」提案
4	平成27年 7月29日	「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」
5	平成27年 8月25日	「人と人のつながりの再生“出会い”」
6	平成27年 9月30日	「ストップ人口減少」
7	平成27年 10月28日	市民会議 with 市役所 これまでの検討結果を踏まえた市役所担当課職員とのディスカッション
8	平成27年 11月11日	市民会議 with 市役所2 これまでの検討結果を踏まえた市役所担当課職員とのディスカッション(ワールドカフェ=参加者がテーマブースで市職員と意見交換)
9	平成28年 1月13日	これまでの意見、提案をキーワード、キャッチコピーとして取りまとめ



1 目的

地区の特性、課題等を再確認し、地区の特性の応じた将来像等を協議、検討するワークショップを開催し、意見や提案等を総合計画の策定に反映しました。

2 参加者

- 地域住民の皆様、地域外から通勤している皆様
- 行仁地区については、児童・PTA・地区住民の皆様
- 関連業務を担当する市役所の担当職員

3 開催概要

地区	月日	会場	テーマ	参加者数
湊	平成27年7月8日	湊公民館	地域の活性化 ～地域ブランドの創出～	7名
大戸	平成27年7月9日	大戸公民館	若者世代の定住、定着 ～若者に魅力ある地域づくり～	10名
河東	平成27年8月5日	河東公民館	魅力ある河東地区を育てる～農業、スポーツ～	15名
門田	平成27年8月19日	南公民館	地域活動のあり方 ～地域活性化、支え合いの仕組みづくり	17名
一箕	平成27年9月3日	一箕公民館	教育・文化 ～一箕地区の宝を次世代へ引き継ぐ～	18名
東山	平成27年9月29日	東公民館	安全・安心なまちづくり～地域の防犯、防災～	15名
本町	平成27年10月14日	小館稻荷神社	商店街活性化 ～商店街と医療、福祉がつながるまちづくり～	20名
行仁	平成27年10月24日 及び11月1日	行仁小学校	みんなで考えようわくわくする行仁小学校 ～地区における公共施設のあり方～	60名
北会津	平成27年11月16日	北会津公民館	農村・農業の活性化 ～より豊かで暮らしやすい地域を目指して～	17名
会津若松 IC周辺	平成27年11月20日	北公民館	地区の少子化対策 ～子育て環境の向上を目指して～	16名
10地区	全11回			195名



1 目的

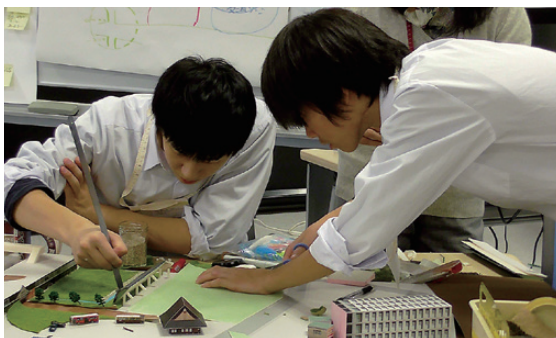
本市のまちづくりを考える上で重要な拠点となる会津若松駅前広場等について、高校生の視点から考えを深める模型製作型ワークショップ「デザインゲーム」を開催し、若い世代が考える将来のまちづくりの縮図として捉え、総合計画策定の参考とするとともに、新しい形の市民参画のあり方の参考としました。

2 開催概要

- テーマ：「未来へつなぐ会津若松の駅前広場を考える」
- 開催月日：平成27年10月12日

3 参加者

- 市内の高校生 25名



1

庁舎整備の方向性に関する意見

1

市役所庁舎に求められる役割と庁舎整備の目標

役割1

会津のランドマーク*として、市民や市のシンボルとなる

人々をつなぎ親しまれる会津の代表的な建物として、これからも変わらない市民や市のシンボルとなる役割が求められる。

目標 人と歴史、未来をつなぐ会津のシンボル庁舎を整備する

役割2

まちの要として、人が集い、賑わいを創り出す

人々や企業、情報が集まり、それぞれがつながり行き交うまちの交差点として、賑わいと活気を創出する役割が求められる。

目標 子供から大人まで皆が集う元気あふれる庁舎を整備する

役割3

市民の暮らしのよりどころとなる

市民の安全・安心な暮らしを支え、災害時においても市民の生活、福祉の拠点となる役割が求められる。

目標 市民の安全、安心な暮らしを守る庁舎を整備する

役割4

情報、市民サービスのターミナルとなる

市民生活に必要な情報を収集、発信するとともに、ワンストップによる市民サービスの提供など、効果的かつ効率的で、誰もがわかりやすい行政サービスを提供する役割が求められる。

目標 誰もが利用しやすい、情報・市民サービスの拠点となる庁舎を整備する

役割5

歴史を継承し、会津らしいまちなかの景観を守り育てる

本市の歴史を見続けてきた歴史的建造物として、その価値を継承するとともに、会津らしいまちなかの景観を守り、形成する役割が求められる。

目標 歴史を継承しつつ、最先端の機能をもつ「レトロ新しい」庁舎を整備する

*ランドマーク…地理学上、都市景観等で目印・象徴となる特徴物。元来、探検家等が一定の地域を移動後、またそこに戻ってくるための目標物となるもの。歴史的建造物など。

2 庁舎整備の位置

現在の本庁舎および、その周辺での庁舎整備が望ましい。

【上記の考え方】

その他の位置とする場合、人の流れを大きく変えることとなり、人口減少社会の中で、こうした「まちの流動化」を受け入れることは難しいと考える。

また、近年の人口動態や財政状況などから、新たな用地の取得や道路等のインフラ整備は極めて困難であると考えられる。

3 整備のあり方

本庁舎旧館（北側）の耐震性を確保した上で保存・活用するとともに、基本的に本庁舎、栄町第一庁舎、栄町第二庁舎、栄町第三庁舎における行政サービスや庁舎機能を集約し、まちなかの景観や駐車場の確保、交通アクセスに配慮した新たな総合庁舎を建設することが望ましい。

加えて、単なる行政サービスの拠点としての機能だけではなく、「市民が集う場」、「観光の拠点」といった機能を重要な要素としながら、市民や観光客等が集う「みんなの庁舎」を整備するよう切に要望する。

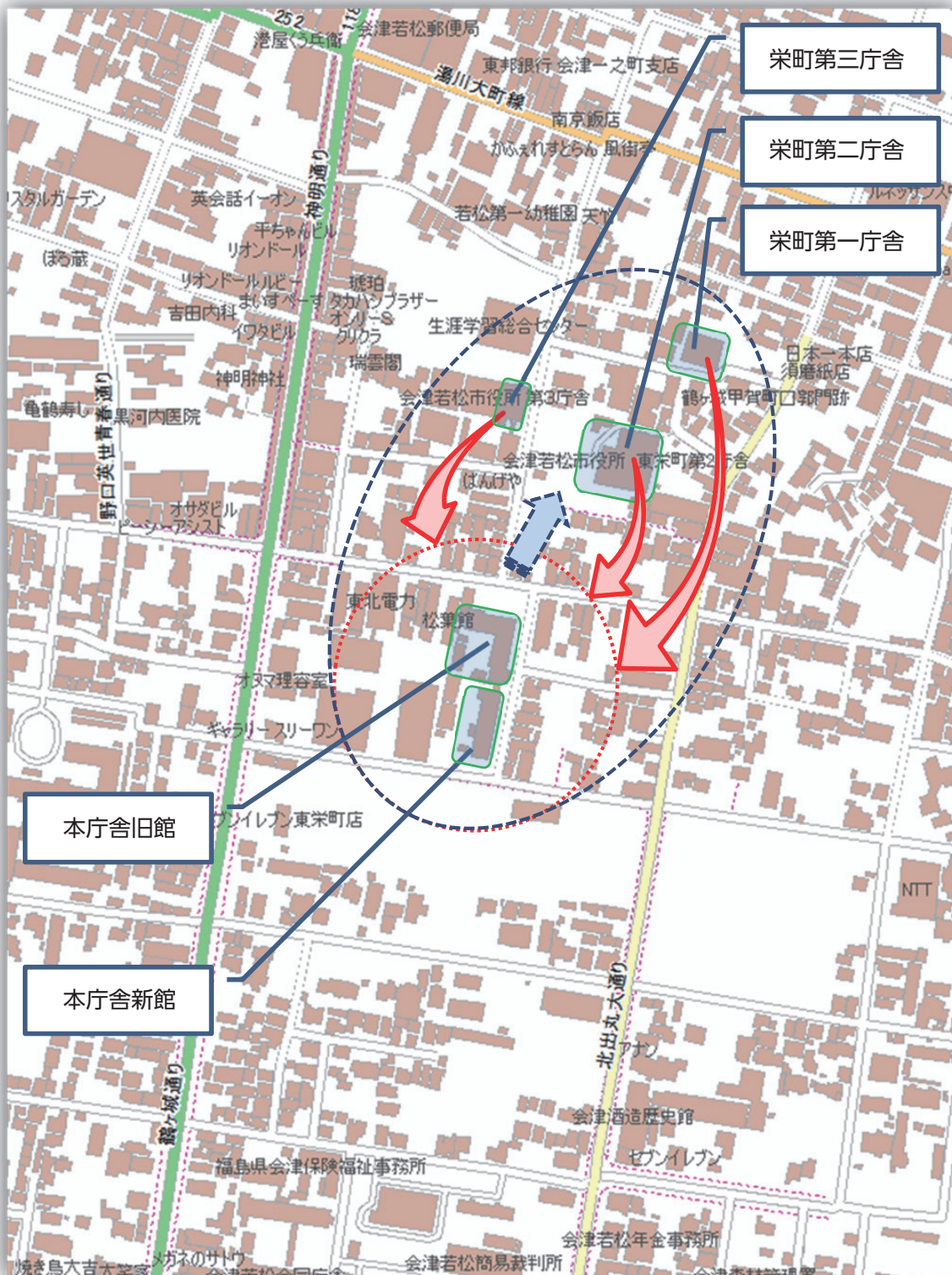
【上記に付帯する意見】

現時点において、新庁舎整備後の各庁舎の利活用については、「鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想」の考え方を基本とするが、庁舎に求められる機能の集積等により、その建物が極度に高層となることは、景観上好ましくない。

今後の庁舎機能・規模の検討において、新たな総合庁舎の高層化が見込まれる場合、利用者の目線から、効率的かつ情報通信技術を最大限に生かした効果的な機能の配置等を検討し、総合的な視点から現本庁舎周辺に位置する分庁舎の建物や敷地の活用（駐車場としての活用を含む）も考慮すべきである。

庁舎整備のイメージ

● 配置イメージ図



● 地図…出所：『© OpenStreetMap の貢献者』

4 財源・事業手法

庁舎整備の財源は庁舎整備基金の活用を基本とし、必要があれば長期的なコストバランス、財政状況等を十分考慮した上で、合併特例債^{*}を活用することが望ましい。

【上記に付帯する意見】

財源については、整備内容との関連もあり、庁舎整備基金を基本としながら、今後、各種補助制度やPFIをはじめとする民間との連携、創意工夫による事業資金の確保等、有効な事業手法を十分検討すべきである。

また、例えば寄付を募り、その方々の名前を新たな庁舎の一部に記すなど、より愛着の持てる庁舎として整備することが望まれる。

^{*}合併特例債…平成の大合併による新市建設計画の事業費として特例的に起債できる地方債。事業費の95%まで充当が可能で、国が返済の70%を負担（普通交付税措置）。発行期限は合併から15年（本市は東日本大震災の被災地として合併から20年→平成37年度まで）。

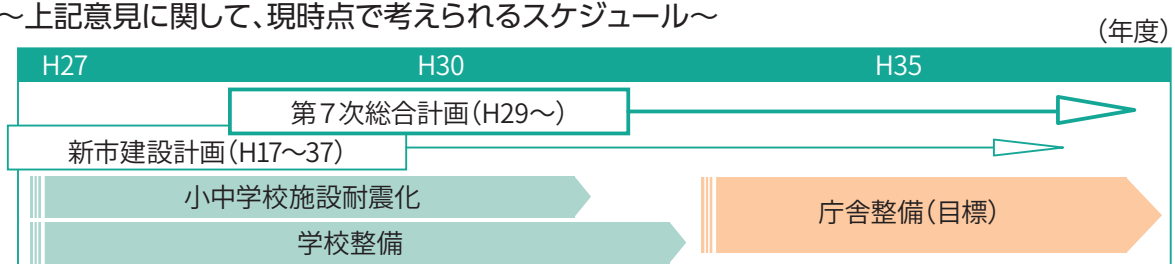
5 整備までの流れ(今後の進め方)

会津若松市第7次総合計画へ庁舎整備の方向性を位置づけるとともに、平成29年度以降、市民をはじめ様々な意見を聞きながら詳細な検討を進め、できる限り早期に庁舎を整備することが望ましい。

【上記に付帯する意見】

具体的な整備にあたっては、その事業スケジュールや進捗状況を公開しながら、市民等の参画のもと具体的な検討を進めること。また、整備の時期については、できる限り早期の整備を望むものであるが、新市建設計画に配慮しながら、最優先で進めている小中学校施設の耐震化状況や財政見通しを踏まえ、判断すべきである。

～上記意見に関して、現時点で考えられるスケジュール～



2

会津若松市庁舎検討懇談会 委員名簿

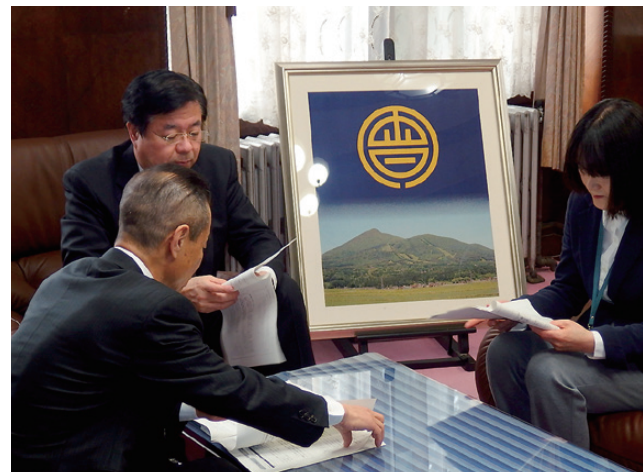
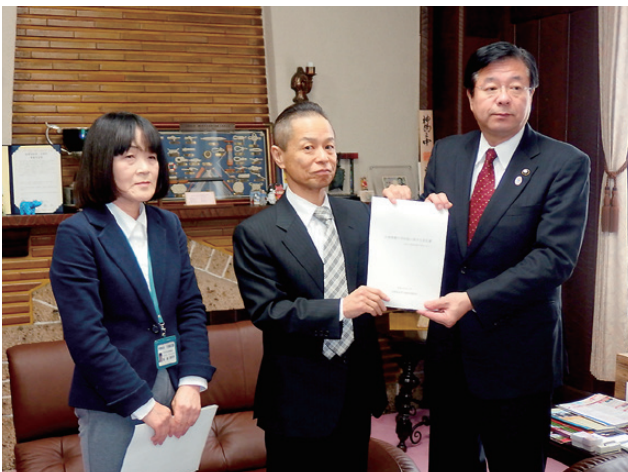
(全16名、順不同、敬称略)

氏名	備考
渡部 卓也	公募市民
小林 正人	公募市民
渡部 香世子	公募市民
榎屋 奈津子	公募市民
大須賀 啓次	公募市民
小椋 満幸	公募市民
松嶋 加代子	公募市民
斎藤 良雄	各種団体(会津若松市区長会)
宮森 泰弘	各種団体(会津若松商工会議所)
澁川 恵男	各種団体(株式会社まちづくり会津)
小畑 匠	各種団体(会津青年会議所)
宮澤 洋一	各種団体(会津若松スマートシティ推進協議会)
竹内 樹美	各種団体(福島県建築士会会津支部)
佐藤 俊材	各種団体(会津若松市地域公共交通会議)
柴崎 恭秀	学識経験者(会津大学短期大学部教授)
中川 浩然	行政機関(福島県会津地方振興局)



3 開催経過

回	日時	概要
第1回	平成27年10月5日 15:30～17:30 會津稽古堂研修室2	①懇談会について ②鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想について ③庁舎に関する市民意識及び現庁舎の現状について
第2回	平成27年10月23日 13:30～15:30 會津稽古堂研修室2	①事例研究 「他自治体の庁舎等整備事例について」 ②フリーディスカッション
第3回	平成27年11月17日 13:30～15:30 會津稽古堂 多目的ホール	①事例研究 「歴史的建造物の保存活用事例等について」 ②その他 ・庁舎整備検討経過及び懇談会の位置づけ、役割、今後の流れについて
第4回	平成27年12月17日 13:30～15:30 會津稽古堂研修室2	①庁舎検討 ・市役所庁舎に求められる役割、庁舎整備の目標及びその位置について ②事例研究 「庁舎整備手法について」
第5回	平成28年1月21日 13:30～15:30 會津稽古堂研修室2	○庁舎検討 ・第4回までのまとめ、整備のあり方、財源・事業手法、整備までの流れ(今後の進め方)について
第6回	平成28年2月10日 13:30～15:30 會津稽古堂研修室2	①庁舎検討 ・第5回までの意見の確認 ②懇談会意見の取りまとめ



1 目的

「会津若松市総合計画審議会条例」に基づく市長の諮問機関であり、市長からの諮問を受け、第7次総合計画についての調査・審議を行い、その結果を踏まえて答申いただきました。

2 構成

条例に規定する「市政に関心を持つ市民」「各種団体の代表者」「学識経験者」「関係行政機関の職員」に該当する委員16名と、オブザーバー3名の計19名で構成しました。

役職名	氏名	団体名・役職等	部会等
会長	石 光 真	会津大学短期大学部産業情報学科長	○第1部会
副会長	澁 川 恵 男	会津若松商工会議所副会頭 株式会社まちづくり会津代表取締役	○第2部会
委員	折 笠 哲 也	市政に関心を持つ市民	第2部会
委員	金 澤 啓 一 (第4～9回) 中 川 浩 然 (第1～3回)	福島県会津地方振興局企画商工部長	第1部会
委員	君 佳 明	市政に関心を持つ市民	第2部会
委員	小 林 正 一 (第5～9回) 羽 染 健 一 (第1～4回)	会津若松市区長会会長	第1部会
委員	小 山 豊	市政に関心を持つ市民	第1部会
委員	佐 藤 雅 美	河東地域審議会委員	第1部会
委員	佐 藤 芳 賢	北会津地域連携会議会長	第1部会
委員	諏 訪 秀 一	会津若松市父母と教師の会会長	第2部会
委員	関 千 尋	市政に関心を持つ市民	第2部会
委員	日 高 光 昭	市政に関心を持つ市民	第2部会
委員	森 正 孝	社会福祉法人 会津若松市社会福祉協議会副会長	第2部会
委員	山 崎 庸 貴	市政に関心を持つ市民	第1部会
委員	湯野尻 强	市政に関心を持つ市民	第1部会
委員	吉 原 秀 一	市政に関心を持つ市民	第2部会
オブザーバー	鈴 木 静	市政に関心を持つ市民	第2部会
オブザーバー	新井田 素 子	市政に関心を持つ市民	第2部会
オブザーバー	堀 美千子	市政に関心を持つ市民	第1部会

※敬称略、委員順不同、団体名・役職等は委嘱時による。

※部会等の欄の「○」は部会長。

※第1部会は、「まちづくり」、「きょうどう」の分野、第2部会は、「しごとづくり」、「ひとづくり」、「ふくし」の分野を審議。

3 開催経過

回	月 日	主な内容
第1回	平成27年11月9日	○委嘱状交付 ○第7次総合計画について全体諮問 ・審議会の役割、総合計画の目的、次期総合計画策定に向けたこれまでの取組経過等説明
第2回	平成28年1月28日	・本市の現状と取組について ・第7次総合計画の構成案について
第3回	平成28年3月30日	・総合計画策定に係る各種会議 ・ワークショップの検討結果、市民等アンケート結果について ・総合計画基本構想について・スケジュール案について
第4回	平成28年4月25日	・総合計画原案(基本構想、基本計画等)に関する審議
第5回	平成28年5月18日	・総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
第6回	平成28年6月1日	・総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
第7回	平成28年6月22日	・総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
第8回	平成28年7月6日	・パブリックコメントの結果について ・KPIの設定と行政評価による進行管理について ・第7次総合計画(素案)について
第9回	平成28年7月20日	・第7次総合計画原案について ・諮問にかかる答申案について
答申	平成28年7月25日	○第7次総合計画について答申



4

諮問・答申

諮 問 書

27 企 第516号
平成27年11月9日

会津若松市総合計画審議会長 様

会津若松市長 室井 照平

会津若松市総合計画について（諮問）

会津若松市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、下記について貴審議会の意見を求めます。

記

- 1 会津若松市総合計画

答 申 書

平成28年7月25日

会津若松市長 室井 照平 様

会津若松市総合計画審議会
会 長 石 光 真

会津若松市総合計画について（答申）

平成27年11月9日付け27企第516号で諮問のありました標記の件につきましては、会津若松市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、慎重に審議を行った結果、別紙のとおり結論を得たので答申します。

答 申

今日、少子化の中で、わが国の人口は減少を続けています。本市においても全国の地方都市の例にもれず、出生数の減少、首都圏への若者の流出といった中で、人口は減少し、地域経済の縮小、後継者や労働力の不足、税収の減少といった状況が続いています。

こうした状況の中で、地域の特色を活かした個性ある地域づくりや、広域的な連携による効率的な行政サービス、交流人口の拡大、さらには、市民や企業等と連携したまちづくりの推進など、社会構造、産業構造等の変化に対応しながら、地域社会の維持と新たな活力を生み出していくための多様な取組が行われてきています。

当審議会は、こうした情勢や潮流、市の取組を認識しつつ、今後、成熟社会へ移行する過渡期の中で、ここに住む市民が、将来にわたって、夢と希望を持ち安心して暮らし続けることができるよう、また、子どもたちの豊かな未来に寄与するまちづくりが進められるよう、各委員、さらにはオブザーバーの知見をもとに、諮問された「第7次会津若松市総合計画」について、様々な視点から、以下のとおり、慎重に審議を重ねてまいりました。

■審議会部会における主要な意見

第1部会（まちづくり・きょうどう）

- ・ 市民生活と行政の関係については、身近な公共施設で市民の困りごとや相談に対応できるような仕組みづくりを求める意見があり、総じて、市民と行政の距離が近いまちづくり、地域のまちづくりを地域で決めることができる仕組みづくりが主要な意見となりました。
- ・ 緑化推進や除雪のあり方については、市民、事業者、行政の協働とその実現のための仕組みづくりを求める意見があり、総じて、公共施設やサービスの拡大が難しいなかであって、市民協働による快適なまちづくりを進めていくことが主要な意見となりました。
- ・ 行財政運営については、起債の活用にあたっての将来負担の適正管理、公共施設等総合管理計画に基づく施設運営、広域行政の推進、行政資源の適切な配分についての意見があり、総じて、時代の変化にあわせた健全な行財政運営を進めていくことが主要な意見となりました。

第2部会（しごとづくり・ひとづくり・ふくし）

- ・ 産業経済については、農産物や修学旅行に対する風評被害対策を引き続き進めることや、会津大学を活かした創業支援、交流人口増加による活性化を求める意見があり、総じて、農業、商工業、観光業の各分野の活力の再生と新しい仕事の創出を図っていくことが主要な意見となりました。
- ・ 子育て・教育については、医療費無料化や待機児童ゼロを評価する意見がある一方、潜在的待機児童の解消や遠距離通学の支援、障がいのある子どもへの支援を求める意見があり、総じて、子育て支援の更なる充実と、置かれた環境の違いや障がいの有無に関わらず、全ての子どもが学ぶことができる環境づくりが主要な意見となりました。
- ・ 福祉については、団塊の世代が後期高齢者となるいわゆる 2025 年問題への対応や、現在の社会保障制度の時代状況にあった見直しを求める意見があるなど、総じて、高齢者増加に対応した福祉の見直しと、アク

ティブシニアをはじめとした幅広い世代の社会参画の仕組みづくりを進めていくことが主要な意見となりました。

■審議会全体会における主要な意見

(基本構想・基本計画(総論)・計画全体)

- ・「人口」については、生産年齢人口と従属人口の内訳を示すべき、人口規模は会津若松市に留まらず会津地方で捉えるべき、元気に活躍している人口を増やす視点が重要などの意見があり、総じて、人口の捉え方と政策への反映等が主要な意見・論点となりました。一方、本市の人口動向を踏まえた上で、将来の人口維持に向けた取組みを述べており、市民へ現実的な状況を伝え、その対策を示している点を評価しました。
- ・最終的な審議においては、部会における細部の検討を踏まえ、今までの審議の総括と、論点の整理を行い、「多様性」「ユニバーサルデザイン」「災害対策」「持続可能性」「出生率増加」「財政健全化」「将来負担」などの論点を重視する意見が出されました。

このような審議の結果、

1. 計画策定の初期段階から、タウンミーティング、市民意識調査、企業・団体アンケート、あいづ創生市民会議、地区別ワークショップ、庁舎検討懇談会、高校生ワークショップなどにより、多くの市民の意見を聴取し、その反映に努めていること。
2. 簡潔にまとめられた基本構想は、行政と市民とが共通のビジョンやコンセプトを共有でき、さらに、体系的にまとめられた基本計画は、政策・施策が分かりやすく示されていること。
3. 現下の社会経済状況に合わせ、スマートシティ、しごとづくり、公共施設・行政サービスの最適化をまちづくりのコンセプトとすることにより、人口減少社会にあっても、持続可能な地域社会の形成とともに、進化し続けるまちを目指していること。

などから、本計画を評価するものであり、本計画に示された目指す姿の実現を切望するものであります。

今後は、当審議会の総意をまとめた、別紙「付帯意見」について十分配慮されるようお願いするとともに、市民の皆さんのご意見や市議会での審議を経て、総合計画が策定され、まちづくりのビジョンに示されたように、本計画を市民、市議会、市長等が共有し、ともに歩み、ともに輝かしい会津若松市を築いていくことを切に願います。

【付帯意見】

1. 暮らしを支えるしごとづくり

地域社会の中で安心して暮らしていくためには、人が暮らし続けるための収入を得る「しごと」が不可欠です。

そのためには、農林業、商工業、観光業などの既存産業の振興、風評対策に努めること、豊かな地域資源とICT専門大学である会津大学の立地をはじめとする地域特性を活かしていくこと、既存産業とICTとの融合や新たな産業の創出と集積を図ることで地域間競争力を高めることにより、「しごとづくり」に取り組まれない。

なお、本計画の根底においては、地方創生の取組が骨格にあるものと認識しており、地方における安定した雇用の創出、地方への新しい人の流れをつくるなどの視点をしっかり掲げた成長戦略を示し、取り組まれない。

2. 次代を創るひとづくり

発展し続ける地域社会の形成には、次代を創る「ひと」の育成が不可欠です。

引き続き子育て支援の取組を進めるとともに、医療、福祉、環境、雇用、経済等の様々な政策の連携を図ることにより、出生率・出生数が上昇できるよう取り組まれない。

さらに、すべての子どもたちが、時代の変化に対応しながら、自分の夢をかなえる力を身に付けることができるよう、基礎学力の向上とともに教育環境の充実に取り組まれない。

3. 多様な主体によるまちづくり

性別や年齢、障がいの有無によらず、すべての人が、地域社会で活躍できる環境づくりが必要です。

また、まちづくりにおいても、自治基本条例を活かしながら、行政だけでなく、市民個人や事業者、コミュニティ、ボランティアなど、様々な主体がそれぞれの多様性を尊重しながら参画することにより、地域活力の向上につなげていくことが有益です。

そのために、男女共同参画及び情報格差の解消を含むユニバーサルデザインの更なる普及啓発と市民協働によるまちづくりに対する市民意識の高揚に努められない。

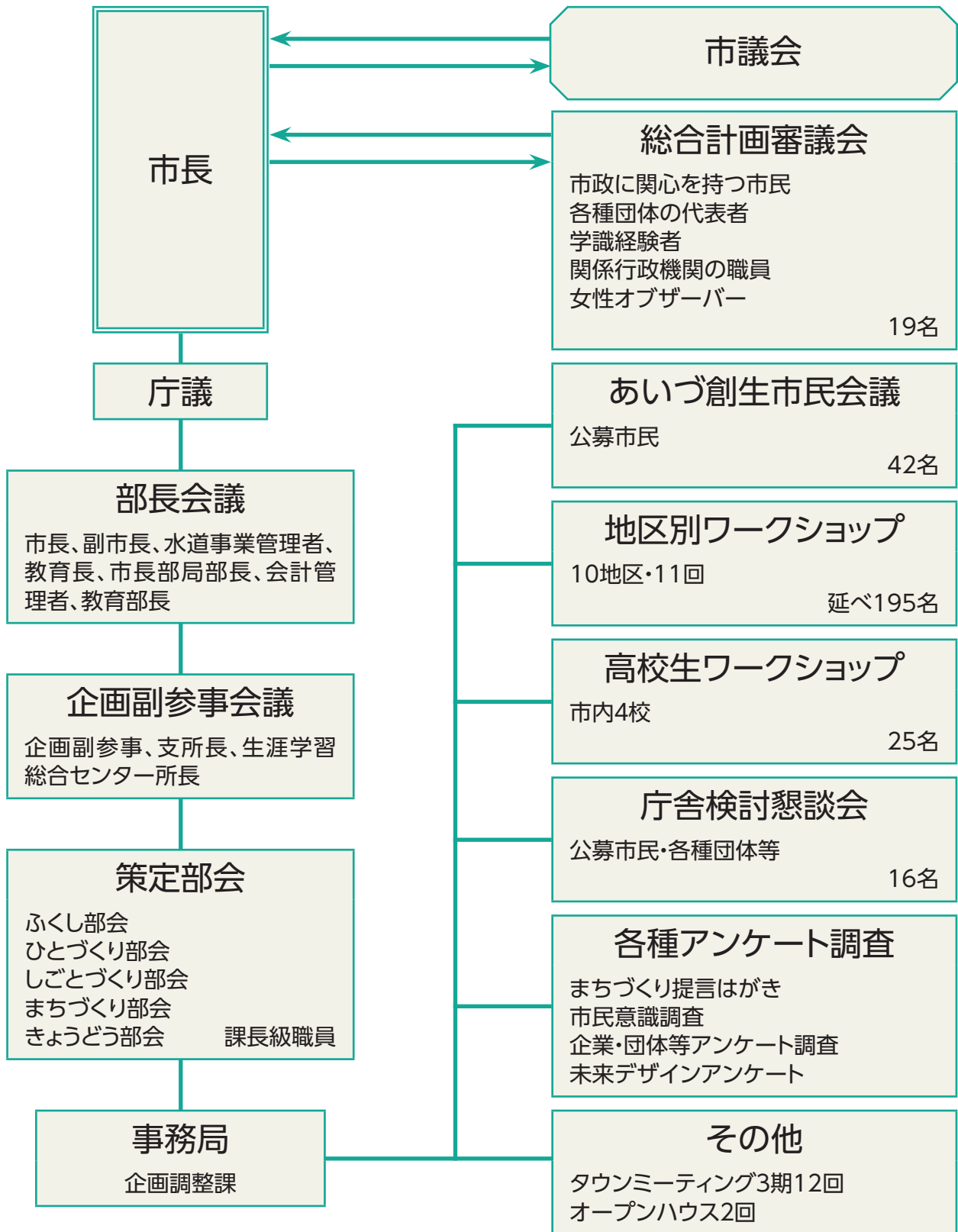
さらに、国内外の都市において、地震・台風・洪水などの自然災害に加え、大規模な事件や感染症など、市民生活を脅かす様々な事象が発生していることから、これら災害等の未然防止、被害減少、被害発生時の業務継続などの対策により、市民の安全で安心な暮らしづくりに取り組まれない。

4. 社会の変化にあわせた行財政運営

成熟社会への移行に際して、時代の潮流を正しく認識し、市民と情報を共有するとともに、その変化に対応していくことが必要です。

また、適切な市民サービスを維持し、魅力的で持続可能な地域社会を形成するために、歳入規模に合わせた歳出はもとより、説明責任には十分留意し、また公共施設のマネジメント、広域行政の推進、行政資源の適切な配分、実質公債費比率などの指標を用いた管理により、将来負担を適正に管理し、時代の変化にあわせた持続可能な行政運営に取り組まれない。

1 計画策定の組織体制



2 計画の策定経過

年 月	会議名等	内 容
H26.5.20	第1期第1回タウンミーティング(大戸公民館)	『暮らしやすいまち』【これからの農業と作物の流通】
H26.5.25	第1期第2回タウンミーティング(會津稽古堂)	『暮らしやすいまち』 【少子化と子育てのあり方・求められる人材】
H26.5.27	第1期第3回タウンミーティング(會津稽古堂)	『暮らしやすいまち』 【地域エネルギーの自立と持続可能な社会づくり】
H26.5.29	第1期第4回タウンミーティング(湊公民館)	『暮らしやすいまち』 【地域エネルギーの自立と持続可能な社会づくり】
H26.5.30	第1期第5回タウンミーティング(河東公民館)	『暮らしやすいまち』【これからの農業と作物の流通】
H26.6.2	第1期第6回タウンミーティング(北会津支所)	『暮らしやすいまち』 【少子化と子育てのあり方・求められる人材】
H26.9	市民意識調査(一般市民)	18歳以上の市民4,000人へアンケート発送。1,285件回収。
H26.9	市民意識調査(区長)	市内504区長へアンケート発送。339件回収。
H26.10.29	第2期第1回タウンミーティング(大戸公民館)	『スマートシティ会津若松について』
H26.10.31	第2期第2回タウンミーティング(北会津支所)	『スマートシティ会津若松について』
H26.11	職員アンケート	市職員192人に調査。111件回収。
H26.11.4	第2期第3回タウンミーティング(湊公民館)	『スマートシティ会津若松について』
H26.11.5	第2期第4回タウンミーティング(會津稽古堂)	『スマートシティ会津若松について』
H26.11.20	第2期第5回タウンミーティング(河東公民館)	『スマートシティ会津若松について』
H26.12	事業所アンケート調査	市内に事業所のある企業700社に発送。307件回収。
H27.1	未来デザインアンケート	市内の小5・6年生、中1・2年生に調査。1,577件回収。
H27.2.20	第3期第1回タウンミーティング(會津稽古堂)	『「地方創生」を考える』
H27.4.23	オープンハウス(會津稽古堂)	「将来のまちづくりに向けて」～市民意識調査の結果と市の取組をご紹介します～【4月23(木)～26日(日)】
H27.5.29	第1回あいづ創生市民会議	会議の設置、情報共有、分科会編成
H27.6.3	市民意見公募(パブリック・コメント)の実施	総合計画(素案)に対する市民意見公募の実施 【6月3日(金)～7月3日(日)】
H27.6.17	第2回あいづ創生市民会議	市の現況説明、「まちの強み再発見!」
H27.7.1	第3回あいづ創生市民会議	「理想のまち」提案
H27.7.8	第1回地区別ワークショップ(湊公民館)	地域の活性化 ～地域ブランドの創出～
H27.7.9	第2回地区別ワークショップ(大戸公民館)	若者世代の定住、定着 ～若者に魅力ある地域づくり～
H27.7.29	第4回あいづ創生市民会議	「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」
H27.8.5	第3回地区別ワークショップ(河東公民館)	魅力ある河東地区を育てる ～農業、スポーツ～
H27.8.19	第4回地区別ワークショップ(南公民館)	地域活動のあり方 ～地域活性化、支え合いの仕組みづくり～
H27.8.25	第5回あいづ創生市民会議	「人と人のつながりの再生“出会い”」
H27.9.3	第5回地区別ワークショップ(一箕公民館)	教育・文化 ～一箕地区の宝を次世代へ引き継ぐ～
H27.9.29	第6回地区別ワークショップ(東公民館)	安全・安心なまちづくり ～地域の防犯、防災～

第4編
市民参画

年 月	会議名等	内 容
H27.9.30	第6回あいづ創生市民会議	「ストップ人口減少」
H27.10.5	第1回庁舎検討懇談会	現庁舎の位置づけ、市民意識調査、庁舎の状況等の説明
H27.10.12	高校生ワークショップ	デザインゲーム「未来へつなぐ会津若松の駅前広場を考える」
H27.10.14	第7回地区別ワークショップ(小館稻荷神社)	商店街活性化 ～商店街と医療・福祉がつながるまちづくり～
H27.10.21	市役所庁内ワークショップ(一般職員級)	5つのテーマごとにグループで対策を検討
H27.10.23	第2回庁舎検討懇談会	他自治体の庁舎等整備の事例紹介、フリーディスカッション
H27.10.24	第8回地区別ワークショップ(行仁小学校)	みんなで考えようわくわくする行仁小学校 ～地区における公共施設のあり方～
H27.10.26	市役所庁内ワークショップ(管理職級)	5つのテーマごとにグループで対策を検討
H27.10.28	第7回あいづ創生市民会議	市民会議 with 市役所
H27.11.1	第9回地区別ワークショップ(行仁小学校)	みんなで考えようわくわくする行仁小学校 ～地区における公共施設のあり方～
H27.11.9	第1回総合計画審議会	委嘱状交付及び第7次総合計画について全体諮問 審議会の役割、総合計画の目的等の説明
H27.11.11	第8回あいづ創生市民会議	市民会議 with 市役所2
H27.11.16	第10回地区別ワークショップ(北会津公民館)	農業・農村の活性化 ～より豊かで暮らしやすい地域を目指して～
H27.11.17	第3回庁舎検討懇談会	歴史的建造物保存活用事例紹介、庁舎の検討経過等
H27.11.20	第11回地区別ワークショップ(北公民館)	地区の少子化対策 ～子育て環境の向上を目指して～
H27.12.17	第4回庁舎検討懇談会	庁舎の役割、整備目標、位置等(ワークショップ)
H28.1.13	第9回あいづ創生市民会議	意見・提案をキーワード・キャッチコピーとして取りまとめ
H28.1.21	第5回庁舎検討懇談会	整備のあり方、財源・事業手法、整備までの流れ等(意見聴取)
H28.1.28	第2回総合計画審議会	本市の現状と取組について 第7次総合計画の構成案について
H28.2.10	第6回庁舎検討懇談会	意見の取りまとめ
H28.3.7	庁舎検討懇談会意見書提出	「庁舎整備の方向性に関する意見書」の提出
H28.3.16	市役所庁内策定部会(ひとづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.16	市役所庁内策定部会(きょうどう部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.18	市役所庁内策定部会(まちづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.22	市役所庁内策定部会(ふくし部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.22	市役所庁内策定部会(ひとづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.23	市役所庁内策定部会(しごとづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.25	市役所庁内策定部会(きょうどう部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.28	市役所庁内策定部会(ふくし部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.28	市役所庁内策定部会(まちづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.3.30	第3回総合計画審議会	各種会議、ワークショップ、アンケート等の結果について 総合計画基本構想のフレームについて
H28.3.30	市役所庁内策定部内(しごとづくり部会)	政策分野の政策・施策の検討
H28.4.7	第1回企画副参事会議集中検討	進め方
H28.4.14	第2回企画副参事会議集中検討	基本構想・基本計画(総論)の検討
H28.4.15	第3回企画副参事会議集中検討	基本計画(政策・施策)の検討

年 月	会議名等	内 容
H28.4.20	第4回企画副参事会議集中検討	基本計画(政策・施策)の検討
H28.4.21	第5回企画副参事会議集中検討	基本計画(政策・施策)の検討
H28.4.25	第4回総合計画審議会	総合計画原案(基本構想、基本計画等)に関する審議
H28.4.25	第6回企画副参事会議集中検討	基本計画(政策・施策)の検討
H28.4.26	部長会議	基本構想・基本計画(総論)
H28.4.28	第7回企画副参事会議集中検討	基本計画(政策・施策)の検討
H28.5.11	部長会議	基本計画(政策・施策)
H28.5.12	企画副参事会議	基本計画(政策・施策)
H28.5.18	第5回総合計画審議会	総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
H28.5.20	オープンハウス(会津稽古堂)	「みんなで考えました!これからのまちづくり」 【5月20日(金)～26日(木)】
H28.5.26	庁議	パブリックコメント実施内容(案)の決定
H28.6.1	第6回総合計画審議会	総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
H28.6.1	全員協議会	パブリックコメント実施内容の説明
H28.6.3	市民意見公募(パブリックコメント)の実施	意見募集期間 6月3日～7月3日
H28.6.22	第7回総合計画審議会	総合計画原案(基本計画等)に関する審議(分科会審議)
H28.7.6	第8回総合計画審議会	パブリックコメントの結果について 第7次総合計画(素案)について
H28.7.20	第9回総合計画審議会	第7次総合計画(原案)について 答申案について
H28.7.25	総合計画審議会答申書提出	第7次総合計画について答申
H28.7.28	企画副参事会議	パブリックコメント結果、議案等
H28.8.2	部長会議	パブリックコメント結果、議案等
H28.8.9	庁議	議案「会津若松市総合計画基本構想及び基本計画」等の決定
H28.8.19	市民意見公募(パブリック・コメント)の実施 結果公表	8名19件の意見要旨及び市の考え方の公表
H28.9.1	市議会9月定例会	議案「会津若松市総合計画基本構想及び基本計画」の提案
H28.10.6	総合計画審査特別委員会	第1分科会(企画、財務、総務等)、第3分科会(産業経済等)における審議
H28.10.7	総合計画審査特別委員会	第2分科会(教育、福祉、市民等)、第4分科会(建設、水道等)における審査
H28.10.11	総合計画審査特別委員会	第1分科会(企画、財務、総務等)、第3分科会(産業経済等)における審議
H28.10.12	総合計画審査特別委員会	第2分科会(教育、福祉、市民等)、第4分科会(建設、水道等)における審査
H28.10.13	総合計画審査特別委員会	第1分科会(企画、財務、総務等)、第3分科会(産業経済等)における審議
H28.10.14	総合計画審査特別委員会	第2分科会(教育、福祉、市民等)、第4分科会(建設、水道等)における審査
H28.10.21	総合計画審査特別委員会	全体会における分科会審査報告、質疑、討議、表決
H28.12.16	12月定例会最終日	議案「会津若松市総合計画基本構想及び基本計画」の議決
H29.2	第7次総合計画 策定	